令和３年３月

# （令和２年度）施設関係者評価報告

認定こども園さめ保育園

【保護者アンケート結果より】

今年度のアンケート提出率は 90%で未提出・未記入は未回答とし、はい（良かった）82.5%、未回答 10.3%、どちらともいえない・いいえ（悪い）7.2%となった。

入園時の懇談の時には保育園の理念や方針、アレルギー対応や苦情窓口の説明を行い、新年度には各家庭に書類を配布してお知らせしているが、十分に理解頂けてないことが分かった。
もっと丁寧に伝えていくことと園の要望や不満も遠慮なくご意見ご提案頂けるよう更なる良好な関係の構築が必要である。今年度はコロナウィルス感染症の拡大により様々な行事を工夫し、安全対策のために人数制限を行うなど不便をかけることが多かったが、引き続きご家庭での感染予防もお願いしたい。

【職員自己評価より】

保育園の基本的な教育・保育理念や目標の理解、認定こども園としての社会的責任の理解、職員としての心構えについては十分に理解している。昨年の課題であった各年齢のねらい及び内容・配慮事項の点については、担当者以外でも発達の理解を深め改善された。今年度の行事はコロナウィルス感染症の流行により、内容の検討や人数制限を行い取り組んだが保護者交流や小学校との交流を行う事が出来なかった。職員研修会もオンライン研修が多く感染症研修や虐待研修会等を受講した職員が、他の職員に情報共有を行う園内研修で、学ぶ事が出来た。来年度は再び保護者交流会の提供が行えるようにしていく事と、園児の保護者及び地域の子育て支援を積極的に行い地域の身近な存在になり、社会的役割を果たせるよう取り組んで行きたい。

【食育アンケート結果より】

保育園では野菜を食べるが家庭では食べないと言う声が聞かれ、サラダ類の野菜の下処理工程やどのような味付けかを食育だより等で家庭にも伝えられるように取り組んで行きたい。家庭でのだしについてもアンケートを取った結果、味噌汁も半数以上の家庭で週 3 回程食卓にあがり子育てや仕事で忙しい状況下でも親御さんの配慮が伺えた。園では煮干し、昆布、鰹節の基本の３つのだし素材にきのこ類、肉類等様々なうま味を使った食事の提供を行っている。そのような毎日の園のだし活も情報提供していけるようにして行きたい。

【施設関係者評価結果より】

園の教育・保育目標の適切な設定に従い職員の共通理解が行われている事、非常事態発生に備え教職員や園児の安全対応能力への取り組みが十分に達成されている、又、園だより等を通して様々な情報の提供が行われている事がとても良いという評価結果を頂いた。今年度はコロナウィルス感染症拡大の影響により園外研修に参加する事が出来なかったことが指摘されたが、リモート研修会に参加し更に職員研修を設け勉強することが出来たことを報告した。今後はコロナウィルス感染症の終息を願い、職員全体の資質向上、園行事や園外研修、地域交流等を活性化出来るように努めて行きたいと思う。

【その他】

コロナウィルス感染症が拡大している状況下だったが、行事を工夫して開催でき良かった。
コロナウィルス感染症の影響がどこまで続くは分からない状況の中ではあるが、子ども達の為に試行錯誤しながら職員と保護者と協力し合いながら今後もやっていけたらと思う。
今年度のだし活の情報提供・食育アンケートを通じて、保護者より食育について考えることができ良かったとの意見を頂け嬉しく今後も頑張っていきたい。